



# news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号  
[URL] <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2014年4月24日

報道関係各位

## ～もっとながる北海道～ 北海道との包括連携協定に基づくタイアップ事業 北海道による電光掲示板付き自動販売機メッセージ配信開始！

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 代表取締役社長：佐々木康行）は、2014年1月に締結した、北海道との包括連携協定に基づくタイアップ事業の一環として、北海道と協働にて、道内約1,300台の電光掲示板付き自動販売機を、北海道の道政広報の為にツールとして活用いたします。

この電光掲示板付き自動販売機は、全179市町村や、全69所轄警察署、北海道開発局等との協定により全道各地に設置されています。時事情報や地域情報のほか、災害時には災害情報も発信する事が出来るため、住みよい地域づくりの一助を担っています。

この度、北海道の道政広報ツールとしての運用を始めることで、北海道から特定地域の住民への情報発信が容易となり、また、北海道全土に関わる情報は一斉配信により、道民に対する即時の情報発信が可能です。

この新たな取組みの始まりを記念し、以下日程にて点灯式を執り行います。報道関係の皆さまのご取材・ご掲載により、本事業が多くの皆さまに周知され、住みよい地域づくりを応援する機運の醸成が期待されます。

ご多忙の折かと存じますが、ご取材の程、宜しく願いいたします。

### 【電光掲示板付き自動販売機 点灯式】

- |      |  |
|------|--|
| □日時  | ： 2014年4月28日（月）12:00～12:30   |
| □場所  | ： 北海道庁舎1階 道民ホール  |
| □出席者 | ： 北海道知事室長 窪田 毅 様<br>北海道コカ・コーラボトリング(株) 代表取締役社長 佐々木 康行<br>東日本電信電話(株)北海道支店法人営業部ソリューション営業第一部門<br>部門長 星 政義 様<br>(株)NTTドコモ 北海道支社法人営業部長 千葉 孝志 様 |

当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、責任ある企業市民として、北海道の魅力をさらに高める活動を、継続的に実行して参ります。これからも、次世代を担う子ども達に、将来の北海道の姿を考える場を提供することや、安全で安心で住みよい地域づくりを応援する取り組みを、地元企業として、事業活動を通して継続的に推進してまいります。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・CSR推進部 担当：宇井  
TEL 011-888-2091

＜参考＞

これまでの、安全・安心な地域づくりへの協働取組事例

①子どもの安全を見守る運動

「大人だけが子どもを守る事が出来る」というコンセプトのもと、官民が一体となって、「子どもを見守る運動」を推進する事を提案し2007年に採択されました。この運動はさまざまな啓発要素を吸収し「安全・安心どさんこ運動」に発展しました。当社グループでは全1,200台の車両にステッカー掲示するほか、通学見守りボランティアを通じて子どもたちの安全を見守っています。



②地域の防災パートナー

当社グループは道内全域をカバーする物流網を有することから、2006年より地域の飲料水備蓄基地代行を柱に、北海道と179市町村との防災協力協定を締結し、地域の防災パートナーとして北海道のライフラインの一環を担っています。

【北海道との協定】

2008年 防災協力協定締結  
2014年 包括連携協定締結

【市町村との協定】

2012年 道内179市町村と協定締結完了



また、この協定に基づき、電光掲示板付き災害対応型自動販売機を活用した市町村との協働取組を展開しており、2012年3月には道内179市町村との間に安全・安心のネットワークが繋がりました。この自動販売機は、遠隔操作により市町村から地域情報を発信できるほか、災害発生時などの緊急時には自治体の判断で飲料を無料提供することも可能です。

### ※電光掲示板付き自動販売機の特徴

当社は、地域貢献活動の一環として、「電光掲示板付き自動販売機」の導入を進めております。この自動販売機は、電光掲示板を通じて文字情報を表示することが可能で、平常時は速報ニュースやお知らせなどを、緊急時には災害情報を表示することができます。また、災害時に遠隔操作によって無料で清涼飲料水を提供すること（フリーベンド）が可能です。

1. NTTドコモのFOMAを利用し、インターネット接続によるタイムリーな情報提供
  - ①ニュース配信
  - ②時報
  - ③各自治体からのお知らせ
  - ④災害情報
2. 災害時、パソコンからの遠隔操作により機内飲料水の無料提供が可能